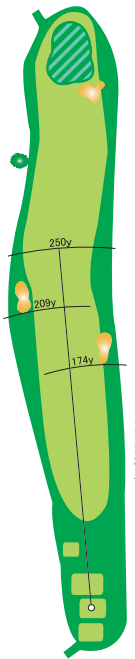
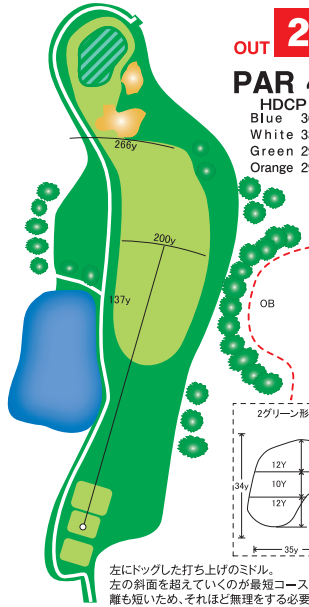


70 セブンハンドレッドクラブ コース一覧 OUT



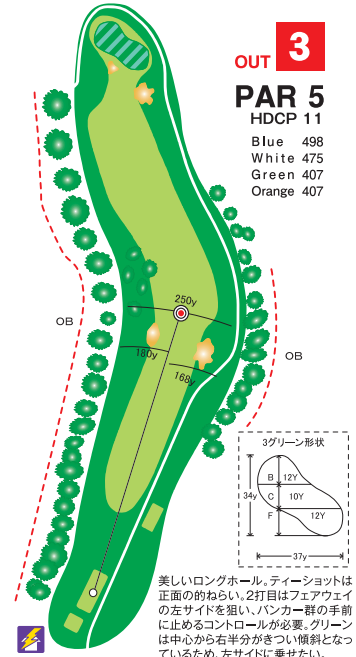
OUT 1
PAR 4
 HDCP 9
 Blue 411
 White 398
 Green 366
 Orange 319

ストレートで比較的攻めやすいミドルホール。
 第1打は左右のクロスバンカーに入れないよう、あくまでセンターキープ。砲台グリーンのため、アプローチは手前から攻める。オーバーは禁物。



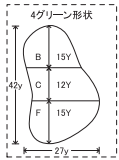
OUT 2
PAR 4
 HDCP 5
 Blue 367
 White 332
 Green 295
 Orange 295

左にドッグした打ち上げのミドル。左の斜面を超えていくのが最短コースだが、距離も短いため、それほど無理をすることは無い。問題はバンカー。第2打地点から見える右バンカーは絶対に要注意だが、その奥にもガードバンカーがあるので、やや大きめのショットが正解だ。

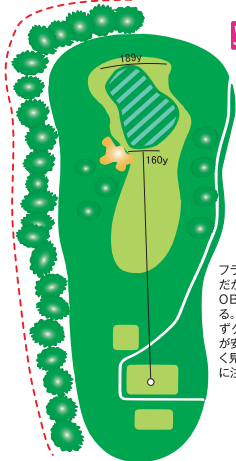


OUT 3
PAR 5
 HDCP 11
 Blue 498
 White 475
 Green 407
 Orange 407

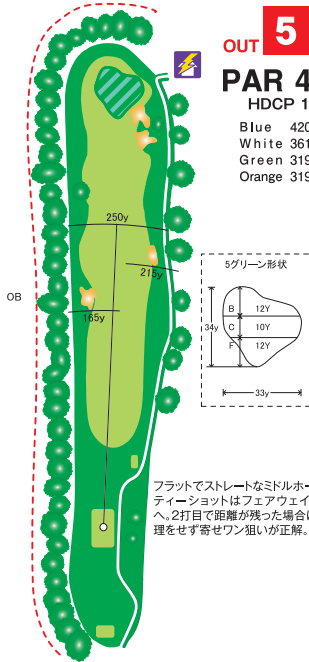
美しいロングホール。ティーショットは正面的な打ち上げ。2打目はフェアウェイの左サイドを狙い、バンカー群の手前に止めるコントロールが必要。グリーンは中心から右半分がきつい傾斜となっているため、左サイドに寄せたい。



OUT 4
PAR 3
 HDCP 17
 Blue 196
 White 170
 Green 145
 Orange 145

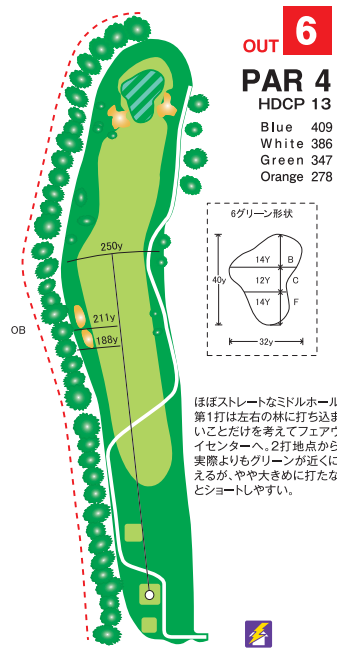


フラットなショートホールだが、左側には崖があり、OBゾーンまで落ちている。ピン位置にかかわらずグリーン右サイド狙いが安全だ。また実際より短く見えるのでクラブ選択に注意。



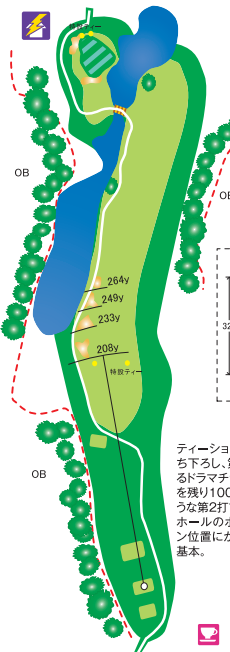
OUT 5
PAR 4
 HDCP 1
 Blue 420
 White 361
 Green 319
 Orange 319

フラットでストレートなミドルホール。ティーショットはフェアウェイ中央へ。2打目で距離が残った場合は、無理をせず寄せ狙いが正解。



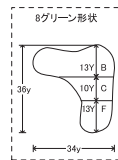
OUT 6
PAR 4
 HDCP 13
 Blue 409
 White 386
 Green 347
 Orange 278

ほぼストレートなミドルホール。第1打は左右の林に打ち込まないことだけを考慮してフェアウェイセンターへ。2打地点からは実際よりもグリーンが近くに見えるが、やや大きめに打たないでショットしやすい。

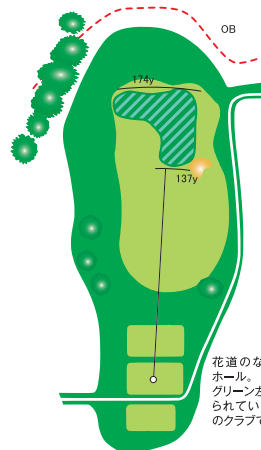


OUT 7
PAR 5
 HDCP 3
 Blue 537
 White 525
 Green 508
 Orange 377

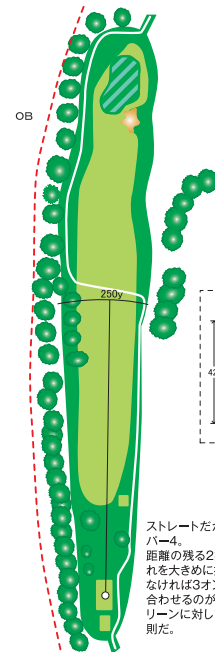
ティーショットは池に向かって打ち下ろし、第3打でその池を超えるドラマチックなロング。第3打目を残り100Y前後から打てるような第2打でのクラブ選択がこのホールのポイント。グリーンはピン位置にかかわらず中央狙いが基本。



OUT 8
PAR 3
 HDCP 15
 Blue 182
 White 158
 Green 130
 Orange 130



花道のない名物ショートホール。グリーン左サイドにカップ切られていても、やや大きめのクラブで右狙いが安全。



OUT 9
PAR 4
 HDCP 7
 Blue 422
 White 395
 Green 293
 Orange 293

ストレートだが、やや打ち上げのタフなパー4。距離の残る2打目がショットしやすく、これを大きめに打てるかがポイント。自信がなければ3オンの寄せワン狙いに照準を合わせるのが賢明。傾斜のきつい受けグリーンに対しては、手前からの攻めが鉄則だ。

IN 10
PAR 4
HDPC 8
 Blue 412
 White 393
 Green 383
 Orange 332

右ドッグレッグのミドルホール。コーナー右のバンカーが口を開けているので要注意だが、このバンカーの左サイドを狙い、フェアウェイ中央のところが理想。グリーンは左奥に長いので、セカンドはピン位置によって1クラブ違ってくる。

IN 11
PAR 4
HDPC 4
 Blue 398
 White 378
 Green 355
 Orange 271

ティーイングエリアからグリーンまでストレートに伸びるミドルホール。ティショットは、フェアウェイや左寄りにつくこと。2打目は左サイドのバンカーを避けてピンの右を狙い。

IN 12
PAR 4
HDPC 16
 Blue 424
 White 403
 Green 340
 Orange 340

距離のあるミドル。このホールのポイントはグリーン。奥からの傾斜がきつくと、ピンの手前につけるか奥につけるかで明確に分ける。寄せワン狙いが安全。特にグリーン左半分は傾斜がきつくと複雑。

IN 13
PAR 3
HDPC 18
 Blue 185
 White 161
 Green 143
 Orange 143

グリーン手前に横たわる大きなガードバンカーがプレッシャーとなるショートホール。しかし、これさえクリアすれば、見た目より奥行きがある大きなグリーンが、気持ちよく受け止めてくれるはず。

IN 14
PAR 5
HDPC 2
 Blue 559
 White 546
 Green 506
 Orange 358

左ドッグレッグのロングホール。ティショットは左のクロスバンカーの右サイド狙い。残り100Yあたりに池が横たわっているので2打目はきっちり池の手前に止めるためのクラブ選択を、左奥からの傾斜がきつい2段グリーンのため、3打目は手前から攻めるのが鉄則。

IN 15
PAR 4
HDPC 14
 Blue 345
 White 328
 Green 318
 Orange 245

比較的距離の短いミドル。ティショットを無理せずフェアウェイセンターに選んだ後のセカンドがこのホールのポイントになる。砲台気味のグリーンはバンカーでがっちりガードされしかも2段でおかつ奥行きがない。キャリーで止まる高いボールがほしいところだ。

IN 16
PAR 4
HDPC 6
 Blue 403
 White 373
 Green 347
 Orange 293

ほぼストレートなホールだがやや右方向を向いているので注意。ティショットは左サイドのバンカー右横へ、グリーン奥にはバンカーが控えているので、少し短めのクラブで広い花道から着実に攻めていきたい。

美しい池を見下ろすショートホール。グリーン右奥には大きなバンカーが待ち構えているため、手前の池との対峙で寄せた距離感がティショットの鍵となる。夫さしいクラブを持ちながらホールだが、できればピンの手前から攻めていきたい。

IN 17
PAR 3
HDPC 10
 Blue 197
 White 167
 Green 136
 Orange 106

IN 18
PAR 5
HDPC 12
 Blue 500
 White 486
 Green 463
 Orange 420

グリーンまで打ち上げていく右ドッグレッグのロングホール。距離は思ったほどないが、無理せず3オン狙いで、第1打、第2打ともフェアウェイセンターや左寄りから攻略ルート、グリーンは奥からのバツが難しいが、逆に手間につければバーディーチャンス。